

### ムシ歯予防をしよう

6月4日のムシ歯予防デーにちなんで、同日、保健センター前でデンタルカーによる歯の相談と予防指導が実施されました。集まった子供や主婦らは簡単なムシ歯治療や予防知識を学ぶとともに、



日頃の手入れの大切さを十分に理解しました。



### 市民大クリーンアップ

「みんなの愛で、一人でもできる美しい郷土づくりをめざそう」と、先月二十九日、長木川を中心に市内各地区でおよそ五千人の市民が参加してクリーンアップ作戦が展開されました。今年で十二回目とあって市民の間にもすっかり定着し、長木川原では午前八時の開治の合図とともに、それぞれゴミ袋を手に河川敷や川のすみずみにわたってあつたつた間にゴミを拾い集めました。

## フォトニュース



### 合同金婚式開かれる

昭和八年に結婚した方々の合同金婚式が、今日、市民体育館で開かれ、七十二組の夫婦が、結婚五十周年の祝福を受けました。午前十一時半に始まった式典では、市からの記念品贈呈や市長の祝辞などがあつたあと、金婚を迎えた参加者を代表して石垣忠吉さん(南神明町)が謝辞を述べました。この中で、結婚当時の時代背景や、苦楽を共にした夫人へのいたわりの言葉に及ぶと会場のおちこちで目頭をおさえる夫婦の姿も見られ参加者の大きな感動を呼んでいました。



### 東京フィル演奏会

今日8日、文化会館の自主事業として東京フィルハーモニー交響楽団の演奏会が行われました。また、演奏会に先だつて午後2時から音楽教室が開催され、高校生や一般の方々に、モーツァルトのホルン協奏曲、ウェーバーの魔弾の射手などを1時間余りにわたって演奏、生の音を満喫させてくれました。



### 読む楽しみ

三ヶ田康子(東台)



私が、記憶する、初めての単行本との出会いは、伯母からプレゼントされた「イソップ物語」でした。いくつかの話に分けられて書かれたその本が、今思えば、それまで読んでいた絵本とは、また、違った魅力だったのでしよう。もう、おもしろくておもしろくて、どんどんページをめくったものでした。

それがきっかけとなり、学校の図書館から借りては読むのが、すっかり楽しみとなりました。きつと、今また読んで、楽しくおもしろいこととは思いますが、当時のようにすっかりその本に溶け込むには、ちよつと無理かなと思われるものに、「オズの魔法使い」が、だれも知らない小さな国「未来への旅」などが、浮かんできます。これらの本を読んでいた時は、きつとどこかに実在する世界、と信じていました。また、そんな感受性があったからこそ本と一体になった。そんな感じがします。今でも、そんな世界があったらなあという夢は捨てきれず、ときどき図書館や書店に立ち寄っては、絵本をのぞきこんでいます。

家ですつくり読書するのもいいものですが、そんなちよつとした時間に読むのが、私はとても好きです。確かに、知識を得るためとか、人生について考える様になった時、良い本との出会いは私たちに感動を与え、救われる場合があります。でも、できるならそのような本との出会いの前に、小さいうちから色々な夢を与えてくれる本と出会って欲しいと思います。そして、テレビやまんがの楽しみと一緒に、本を読む楽しみを味わってほしいと思います。